

情報 の 流れ

地方機関に在職10カ年間で、さまざま苦労させられたが、とくに身に沁みたまつは、情報の流れ、洪水のような勢いとそしてその速度であった。昨春、退職後現在まで、ボツボツ記録をとりまとめているが、その一側面に情報の流れと対応の材料がある。たとえば、こんな事柄がある。全国の農業事情が変化してきた経過をふりかえる際、産業別所得比からみれば、全国総計値で、昭和8～12年頃と昭和30～33年頃が類似している。また、各県別・年代別に整理すれば、国内には15年を超える年代的な差があり、それぞれの県内では、この開きは顕著になる。この経過を理解するかどうか、情報の流れと遅速があると思っていた。この年代的・地域的なズレを理解していけば、技術を中心とした地方問題の対策化は、割とスムーズに進められたように思う。在職時、こんな話題ばかりしていると叱られるから、ごく時たま情報伝達速度資料を提供して、関係者の注意を呼び起していた。

植調北陸支部を担当してから、現役の人々が除草剤の研究・普及活動に、情熱を燃焼させている姿を考えながら、わずかでもよいから、何がしか報いたいと思ってきた。いわゆる資材化農業今後の中で、生態系的に、研究史的に、客観的な情報を遅くならず、しかも「地場」の問題として捉えられるかどうか、現役の人々が伸々とやれるように努めたい。

ただいま、本誌にのっている諸資料を注意深く、心楽しく眺めている。本誌が一層、情報伝達の旗手として成長されることを祈念する。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 丸山 篤〕
北 陸 支 部 長

目 次 (第13巻第6号)

アメリカネナシカズラの生態と防除……2
〈埼玉県園芸試験場 古谷友男〉

1. は じ め に……………2
2. 種 類 の 同 定……………2
3. ネナシカズラ類の発生場所と
その被害の実態……………2
4. アメリカネナシカズラの寄生
草種……………5
5. アメリカネナシカズラ種子の
特性……………6
6. 防除法について……………6
7. む す び……………7

昭和53年度冬作(麦類・いぐさ・水
稲刈跡)関係除草剤試験成績概要……8

〈財団法人 日本植物調節剤研究協会〉

第1表 昭和53年度冬作関係除草
剤の有効成分および判定結果一覧
表……………8

第2表 昭和53年度冬作関係実用
化除草剤使用基準一覧表……………13

植調協会だより……………15

表紙写真説明

表紙の写真は、ナガエコナスビの種子
表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影した
もの；網目突起型×3800。

〔写真提供者；笠原安夫氏〕